

「海業」を活用した漁業・漁村の振興

～「豊かな海づくり大会」のレガシー継承～

〈海業とは〉

海や漁村の地域資源の価値や魅力を活用する事業であって、国内外からの多様なニーズに応えることにより、地域のにぎわいや所得と雇用を生み出すことが期待されるもの。

現状・課題

水産業をとりまく状況

気候変動、海水温上昇
人口減少、高齢化など

水産資源 減少
漁獲量の変化・減少

漁村の活力 低下

豊かな海・漁村振興



海づくりの機運 上昇

次世代への継承

漁業・漁村 振興

取組内容(R8)

事業の目的、必要性

- ・「全国豊かな海づくり大会 ～美し国みえ大会～」→ レガシー継承
- ・海や漁村の地域資源を活用した「海業」→ 交流人口増加、漁村地域活力向上

取組詳細

1. みえの海業推進事業(県新規6,400千円)

- ・ 協議会設立、「みえの海業推進方針(仮)」の策定
- ・ 海業コンシェルジュによる相談対応
- ・ 漁協や市町等を対象としたセミナー等の開催
- ・ 海業での活用可能な漁港や施設等のリスト化
- ・ 有識者を交えた新たな水産業のあり方の検討 など

2. みえの海業

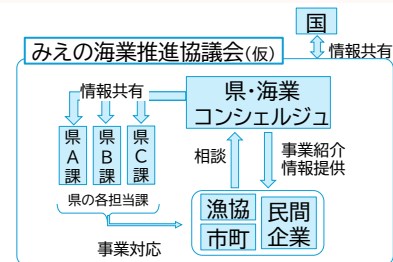
モデル地区支援事業(国事業30,000千円)

- ・ 海業推進モデル地区の選定
- ・ 海業の計画策定に向けた地区内の協議、各種調査
- ・ 試験的なイベント開催&効果分析 など
(国の定額補助 上限5,000千円)

3. みえの海業

スタートアップ支援事業(県新規9,000千円)

- ・ 既存施設の改修や改造費用の補助
- ・ 機器類の導入費用の補助
(補助対象経費上限4,500千円(補助率1/3以内))



1. 海業推進事業

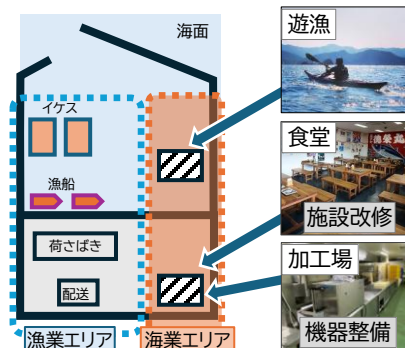


モデル地区(R7)

- ①: 明和町下御糸
- ②: 鳥羽市小浜
- ③: 尾鷲市須賀利
- ④: 熊野市二木島

※ R8は2地区選定を目指す

2. モデル地区支援事業



3. スタートアップ支援事業 (イメージ)